

平成24年度

高砂市次世代育成支援後期行動計画の報告

平成24年度は、平成23年度に引き続き、第4次高砂市総合計画及び後期行動計画の6つの基本目標であります「子育て家庭への支援」、「子育て支援のコミュニティ整備」、「就労と子育ての両立支援」、「健全育成に向けた教育の充実」、「地域での生活環境の整備」、「安心して生み育てることのできる環境の整備」に沿い、事業を展開しました。

国は、平成22年度税制改正による所得税・住民税の年少扶養控除の廃止に伴う地方財政の増収分について、子育て関係の国庫補助負担金の一般財源化を行い、地方がより自由度の高い子育て支援施策に活用できるようにしました。

高砂市においては、子育て支援交付金や上記の増収分も有効に活用しながら、事業を行いました。

平成24年度の主な事業の成果

目標1 子育て家庭への支援

(1) 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

地域の子育ての拠点として保育所、公民館を活用し、体験保育・すこやかグループを通じて子育てサークルの育成、子育て全般に関する支援を行いました。

(実績) 体験保育 4カ所 延べ 1,962 人 すこやかグループ 親子 60 組 134 人

(2) 「児童の権利に関する条約」の啓発（人権推進室）

子どもへの暴力防止の学習・啓発事業(CAP)を市内保育所の園児、保護者を対象に実施しました。また、みのり会館だより9月号に条約を掲載し、広く市民に啓発を行いました。

(実績) CAP 園児対象 4回 81 人 保護者対象 3回 70 人

【目標の年度評価】

「被虐待児童のケアと立ち直り支援」で相談件数が減少するなど、取り組んできたことが着実に効果を上げている。また、「子どもの人権尊重」においても取り組みが行われ、市民に対し子どもの人権を守る意識を持つよう啓発することができた。各取り組みで進展がみられるなど、目標全体としては達成された。

目標2 子育て支援のコミュニティ整備

(1) 安全・安心のまちづくりの推進（青少年育成課）

子ども達の登下校時の安全を守る為、青少年健全育成協議会や地域の団体と協力し、見守り活動を実施しました。

(実績) 声掛け見守り活動通年実施

(2) つどいの広場の活用（子育て支援センター）

育児の悩みについて話し合えるよう、乳幼児を持つ親子が気軽に集い交流する場を提供し、子育て家庭の不安解消を図りました。

(実績) つどいの広場 136 回開催 延べ 4,770 人参加

【目標の年度評価】

子ども達の登下校時の見守りで地域ボランティアや各種市民団体との連携が図られていること、乳幼児を持つ親子が集う交流の場に参加者が増加していること、また、ファミリーサポートセンター事業においては登録会員が45人増加し、活動回数も増えていることなど、子育て支援のコミュニティは広がりをみせており、子育て支援のコミュニティ整備の目標は達成できた。

目標3 就労と子育ての両立支援

(1) 乳児保育事業（児童福祉課）

就労と子育ての両立支援を行うべく、入所希望者すべての受け入れに努めました。

（実績）待機児童 0人

【目標の年度評価】

「子育てしやすい雇用環境の整備」に関してパンフレットによる啓発や「多様な保育サービスの充実」においても民間移管・幼保一体化を計画どおり進めている。また、平成24年度は実施園がなく休止されていた病児・病後児保育事業を平成25年度より再開できるよう協議を行うなど、計画的に取組みを進めており、目標は達成できた。

目標4 健全育成に向けた教育の充実

(1) エコ教室事業（環境政策課）

地域に根差した環境学習の場づくりを推進するため、市内事業者の協力を得て、小・中学校でエコ教室を実施しました。

（実績）エコ教室6回開催 延べ355人参加

(2) 歴史体験の充実（文化・スポーツ課）

高砂ゆかりの人物である工楽松右衛門が発明した松右衛門帆布に触れ、その功績を学ぶ機会を提供しました。

【目標の年度評価】

「生きる力を育む教育の推進」においては、インターネットトラブル防止啓発講座を小学校高学年まで拡大し、「多様な体験・交流活動の推進」においては、歴史体験で郷土の偉人の功績を学ぶ機会を提供するなど取組内容の充実が図られており、目標は達成できた。

目標5 地域での生活環境の整備

(1)防犯体制の充実（学校教育課・青少年育成課）

学校危機対応ハンドブックを活用して、教職員を対象に不審者対応訓練を実施し、不審者発生時の緊急措置を講じる教職員体制の強化が図られました。

（実績）各園・各学校において実施

(2)道路の整備(まちづくり部建設課)

高砂102号線、塩市・宝中前準幹線道路の道路改良により歩行空間の整備を実施し、歩行者の安全を確保しました。

【目標の年度評価】

子どもを守る為の保育士・教諭を対象とした不審者対応訓練や児童見守り活動、交通安全教室などが実施され、子どもの安全の確保にも取組むなど目標は達成できた。

目標6 安心して生み育てることができる環境の整備

(1)養育支援家庭訪問事業（健康増進課）

新生児等訪問指導として、母親及び新生児の健康状態を把握し、適切な保健指導を行いました。また、状況に応じて関係機関と連携をとり、支援を行いました。

（実績）350人

(2)療育相談（児童福祉課）

発達障がい等の早期発見に繋がるよう子どもの成長を記録するツールとしてプロフィールファイルたかさごを生まれた子ども等の保護者に配布しました。

【目標の年度評価】

「療育相談」の項目において新しく“プロフィールファイルたかさご”を作成・配布したことで、発達障がい等の早期発見に繋がる環境を整えることができた。また、「デイサービス」において細やかなサービス体系に改正された為、利用者数が倍増しており、目標は達成できた。